

このインフォメーションは、旅行会社の皆様向けの資料です。この資料を報道メディアの記事に用いることや転載することは、堅くお断りいたします。メディア関係の方は、東京支店 旅客営業部 マーケティング・ユニット TEL:03-3240-6153 にお問い合わせください。

## 旅行会社 各位

日頃から弊社便の販売にご協力をいただきまして、ありがとうございます。

10月3日付にてインドネシア・バリ島東部にあるアグン山（GUNUNG AGUNG）の火山活動活発化に関連した情報をお知らせいたしました。その後も引き続き噴火はしておらず『イ・グスティ・ングラライ国際空港』（以下「DPS」）発着の航空便運航に影響は出ておりません。

このたび、インドネシア火山地質災害対策局（PVBMG）はアグン山の警戒レベルを最も高い「AWAS」から「SIAGA」に引き下げ、発表しましたのでお知らせいたします。詳細は以下をご覧ください。

## 1. アグン山とバリ島空港や主要リゾートエリアとの位置関係

バリ島南部に位置するDPSは、アグン山 山頂と約58km離れており、インドネシア共和国・国家防災庁のハザードマップにおいても噴火時に危険性があると指定された範囲から外れており、旅行される方々の主要な滞在地であるウブド、スミニャック、クタ、ヌサドゥアなどバリ島南部のエリアも同様に範囲外となっております。（ハザードマップについては、この文章の最終ページをご参照ください。）



## 2. アグン山の警戒レベル引き下げ

インドネシア共和国エネルギー・天然資源省の下部組織であるインドネシア火山地質災害対策局（PVBMG）は、2017年10月29日インドネシア西部時間16時（日本時間同18時）を以って、火山危険度（警戒レベル）を最も高い「AWAS」から「SIAGA」に引き下げ、発表をしました。同時に、立入禁止区域を山頂から6.0～7.5km以内に狭めました。（従来は同9.0～12.0km）

これは、直近の火山性微動の回数が減少／目視、人工衛星やドローンによる観測／GPSを利用した地形のゆがみ観測を総合的に評価した結果によるものです。

警戒レベル引き下げの発表文／観測資料（火山性微動数の減少、目視による水蒸気量の減少など）は、以下のウェブサイトにてご覧いただけます。インドネシア語での記述です。

<http://bit.ly/2zWJLER>

（URLが長いため、bitlyによるURL短縮サービスを利用しています。接続先はPVBMGのサイトです。）

### インドネシア政府 火山危険度

レベルⅣ：AWAS

レベルⅢ：SIAGA

レベルⅡ：WASPADA

レベルⅠ：NORMAL

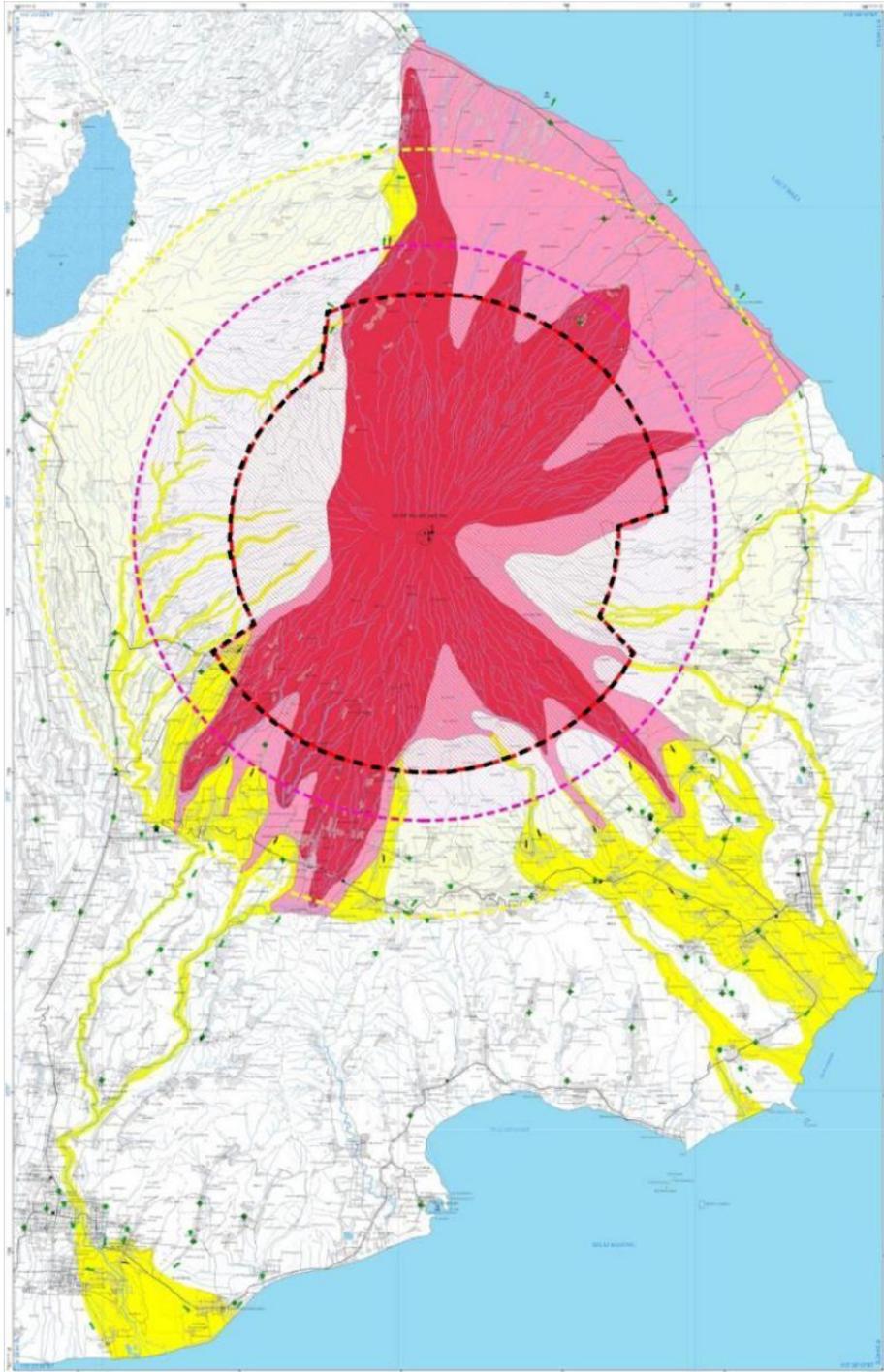
出典：INDONESIA PVBMG

## 3. DPS 現在の運航状況

以上のように、DPSとアグン山の位置関係及び警戒範囲、噴煙がないことにより、DPS発着の航空便は引き続き、全便通常運航しています。

## アゲン山 ハザードマップ (更新版)

警戒区域は、アゲン山を中心にバリ島北部に広がり、空港やリゾートホテルが多いクタ、レギャン、スミニャック、サヌール、ヌサドゥア、ジンバラン、ウブドの各エリアは指定区域外です。



上記ハザードマップの範囲を  
1ページ目の図で示すと  
右のようになります

